

理事会ニュース

第36期第8号 (通算NO. 354)

平成26年 5月23日

市川ハイツ管理組合理事会発行

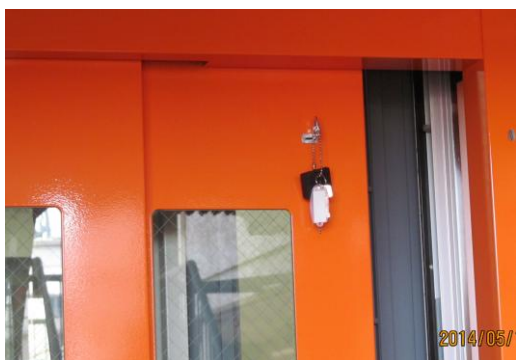
エレベーターの救出訓練・実施



突然動かないように、まず電源を切る。



停止したEVの前で説明を聞く。



鍵を使ってEV扉を開錠する。



段差60cm以内の場合のみに救出する。



受講し手順通り行えば誰でもできます。



最後に受講終了の確認です。

* 閉じ込めエレベーターからの救出訓練

1. 平時においてエレベーターは安全装置が幾重にも働きますので、安全な乗り物です。しかし、災害時には、電気が止まる・電話が止まるので連絡がつかない・渋滞と同時の閉じ込め数が多くなる等々が重なって、EV 管理会社からの救出が遅れる等が懸念されます。
2. 2013 年 12 月中央防災会議では、首都直下地震が発生した場合のエレベーター閉じ込め数を凡そ30千台、17千人と想定しました。救出には数時間から数日かかったとの報告もあります。理事会では今年度防災訓練の締めくくりとして、エレベーターの救出訓練を行いました。
3. 救出作業手順
 - ①作業に必要な用具の持参と戸閉じ込め確認
 - ②電源を遮断**注意
 - ③乗場戸を非常解錠する準備(非常解錠鍵など**)
 - ④乗場戸の非常解錠**注意
 - ⑤かご停止位置の確認**注意
 - ⑥非常解錠鍵の抜き取り
 - ⑦乗場戸の開放
 - ⑧かご戸の開放**注意
 - ⑨閉じ込め者の救出**注意
 - ⑩乗場戸の戸閉め
4. 注意事項
 - ・救出中の転落事故等が懸念される危険な作業ですので、本当に緊急な場合以外は実施しないこと。
 - ・かごの停止位置が60センチ以上大きい場合は、実施しないこと。
この場合は、閉じ込め者に声を掛けて元気づけつつ、EV 管理会社到着を待つ。
 - ・救出作業は 2 人以上で行い、周辺の歩行者への注意を促すこと。
 - ・救出作業は、登録した受講者以外は行えません。
 - ・毎年、講習を実施して受講者を増やし又救出手順を確認すること。
 - ・非常解錠鍵は、管理員室で預かりました。
5. 閉じ込め中の対策として、エレベーターBOX があります。平時には椅子にも使えますので設置して安心を増やすことができます。
3 年間に70%の確率で首都直下地震があると言われております。こうした不安に対しては、訓練や防災知識を増やすことで安心を増加し、その分不安を減少させることができます。

* お知らせ

- * 注意したにも関わらず、同じ人が何度も臨時駐車場を使用しているとの連絡があります。近隣駐車場を使用してください。
- * 管理費遅延の方にですが、3 か月を超える延滞の場合には駐車場契約は解除となりますので十分ご留意ください。以上